



PRESS RELEASE

報道関係者各位

Release No. 18-01

2018年5月23日

田口亜希が世界パラ射撃連盟の選手代表に就任

5月に韓国清州市で開催された世界選手権で選出される

パラリンピアンであり当連盟理事の田口亜希が、パラ射撃の国際競技団体である世界パラ射撃連盟（World Shooting Para Sport, 略称 WSPS）の選手代表となりました。選手代表は、パラスポーツの各国際競技団体の中で、選手の中から1名のみ選出され、世界中のパラ射撃選手の声を集め、代弁するポジションです。

田口は、射撃の日本代表として、アテネ、北京、ロンドンの三度のパラリンピックに出場し、当連盟理事でもあります。WSPS から選手代表の公募が行われたことを受け、立候補しました。当初他国の選手1名も立候補を表明していましたが、世界選手権会期中に予定されていた投票日を待たずにその選手が立候補を取り下げ、田口の当選が決まりました。

田口は、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会アスリート委員も務めており、「私が初めて出場したアテネパラリンピックの時は、日本ではパラリンピックの名前さえ知らない人が多かった。2020年東京オリンピック・パラリンピック開催が決定して、日本でもパラリンピックスポーツの魅力や価値、そして共生社会について考えられるようになってきた。選手代表としての活動を通して、このムーブメントが2020年以降も続き、以前の日本と同じような環境にある国々にも変化を与えていきたい。」と語っています。また、「自分は25歳の時に脊髄の病気で車椅子ユーザーとなったことをきっかけに射撃を始めたが、射撃が自分に目標を与え、自分自身と戦う力を教えてくれた。射撃スポーツの素晴らしさをより多くの人々に伝え、世界中のパラ射撃アスリートの代弁者として彼らの声を役員や運営等を行っている関係者にしっかりと伝えていきたい。」とも語っています。

【メディアからのお問合せ】

特定非営利活動法人日本障害者スポーツ射撃連盟 担当： 田中辰美

TEL：090-4105-8802

e-mail：tatsumi.tanaka@jpssf.com

公式ホームページ <http://jpssf.com/>